

『フードシステム研究』報告論文投稿・審査について（2023年度）

1. 報告論文

報告論文とは、大会の個別報告を元にしたコンパクトな論文です。論文作成にあたっては、下記、審査のチェックポイントを参考に執筆してください。なお、論文は未公開のものに限ります。

2. 審査・掲載

原則として審査員2名による2回までの審査を行い、編集委員会において採否を決定します。また、掲載が認められた論文は、4号（翌年3月刊）あるいは1号（翌年6月刊）に掲載する予定です。

3. 投稿・審査の流れ

- ①学会ホームページ上で大会への参加登録を行った上で、報告要旨を様式「報告要旨2023」に従って作成し、2023年度大会ホームページの「個別報告エントリーフォーム（3月25日（土）開設予定）」よりエントリーと報告要旨の提出を行って下さい（期限：4月21日（金）23:59まで【厳守】）。
アップロードは1度のみです（アップロード後の差し替えはできません）。

大会ホームページ：<https://sites.google.com/fsraj.org/2023/>

- ②報告論文（4から6ページ）を様式「報告論文2023」に従って作成し、オンライン投稿審査システム（Editorial Manager）によりWordファイルで提出する。また、審査料領収書の代替ファイル（Word）を論文と合わせてアップロードする。【7/1（土）23:59必着】昨年までと書式が変更されています。

※修正・審査期間が限られているため、提出や支払等の遅れは受け付けません。また、混乱を避けるため、提出後の差し替えについても認めておりません。

※オンライン投稿の際、ファイル種別「審査料領収書」には、「投稿後、会員管理システムを通じた請求から10日以内に審査料を支払います」という文言と、新会員管理システムの4桁の会員番号を記載したWordファイルをアップロードしてください。

※投稿後、会員管理システムを通じて審査料を請求するので、期日（請求から10日間）までに支払いを行ってください（振込先口座番号は、請求書毎に専用の口座番号が発行されます。必ず、会員マイページの[振込先口座情報]（もしくは、オンライン決済手続きをした際に送信される受付メール）にて、ご自身の振込先口座番号を確認していただくようお願いいたします）。審査料が支払われている場合のみ、第1回目の査読結果を返しま

す。第1回目の修正稿以降は、オンライン（**Editorial Manager**）を通じて提出する際、ファイル種別「審査料領収書」には会員管理システムからダウンロードした領収書をアップロードしてください。

③9月上旬頃：1回目の査読結果の通知

④審査後、修正依頼があった場合、査読結果の通知後3週間以内に修正原稿と対応表を作成し、9月下旬～10月上旬頃にオンライン投稿審査システム（**Editorial Manager**）によりWordファイルで提出する。

⑤11月上旬～中旬頃：2回目の査読結果の通知

⑥再審査後、再修正依頼があった場合は、査読結果の通知後3週間以内に最終原稿と対応表を作成し、編集委員会にWordファイルで提出する（11月下旬頃）。2回目の査読結果の通知時点で、編集委員会よりネイティブチェック証明書の提出が求められた場合は、ネイティブチェックの証明書も合わせてアップロードする（ネイティブチェックについては後述）。

⑦12月上旬：最終審査結果の通知。掲載が決定した場合、所定の掲載料（4ページの場合2万円、5ページの場合2万5千円、6ページの場合3万円）を振り込む。

4. ネイティブチェックについて

英文サマリーおよびキーワード、英文原稿についてはネイティブスピーカーによるチェックを受けて、チェック者によるサイン付き証明書（任意様式）を添付しなければなりません。ただし、英文サマリーおよび英文原稿は必要に応じて編集委員会で修正する場合があります。

和文原稿の英文サマリーおよびキーワードのネイティブチェックの提出時期は「採択後」となります。採択前、例えば論文提出時にネイティブチェックを実施することはお控えください。審査によってサマリー部分に大幅な修正が入る場合があり、その場合には再度ネイティブチェックを実施する必要性が生じます。2回目の査読結果の通知時点で、採択の可能性が非常に高い報告論文についてはその時点で編集委員会より、ネイティブチェック証明書の提出を著者に依頼させていただきます。ネイティブチェック証明書の提出の時期は審査の状況によって変わるため、編集委員会の案内をお待ちください。

一方、英文原稿のネイティブチェックの提出時期は「初回投稿時」となります。

5. その他

報告論文投稿規定ならびに論文投稿規定も併せてご参照ください。ご不明な点については、学会ホームページまたは学会誌編集委員会（enquiry_jfsr@fsraj.org）までお問い合わせください。

[参考] 報告論文審査のチェックポイント

1) オリジナリティについて

・いずれも満たしていない場合は不可とする。

- 一点でも新知見がある
- 新たな視点・研究方法の提起がある

2) 構成について

・著しく満たされていない項目があるかをチェックする。著しく満たされていない項目が多く、短期間で修正不可能な論文は不可とする。

- タイトルが適切である
- 研究レビューが適切である
- 研究目的が明確である
- 研究方法が適切である
- 研究目的にあった結論を論理的に導き出している
- 専門用語の使用が適切である
- あきらかな事実誤認がない
- 事例から一般化した結論を導き出している
- 計算プロセス、モデルに誤りがない

3) 体裁について

・著しく体裁が整っていない論文は不可とする。

- 日本語表現、あるいは英語表現が適切である
- 本文、図表、注釈が規定の様式に従っている